

事業番号	事業名	内 容	対象外 項目番号
	都市計画決定事業		
1	都市計画策定・企画調整事業	都市計画に関する調査、計画立案等に関すること	①
2	第7回線引き見直し事業	都市計画法第7条に基づく区域区分の見直しに関すること	①
3	都市計画決定手続き事業	風致地区、特別緑地保全地区、特別用途地区の指定	①
4	都市計画審議会事業	都市計画審議会開催・運営に関すること	②
	まちづくり推進事業		
5	大磯町まちづくり条例事業	大磯町まちづくり条例の運用を行う。	②
6	まちづくり基本計画事業	大磯町まちづくり基本計画の運用評価及び計画の見直し検討を行う。	⑥
7	まちづくり審議会事業	まちづくり審議会の開催・運営に関すること	②
8	住居表示事業	住居表示関連業務全般	①
9	住環境施策事業	住環境に関する調査等の対応	①
	開発建築事業		
10	都市計画法第32条同意協議事業	開発行為に対するまちづくり条例に基づく指導調整	①
11	都市計画法43条申請経由事業	都市計画法に基づく申請の経由事務	⑦
12	建築確認申請経由事業	建築確認申請の経由事務	⑦
13	建築協定事業	建築協定に関する事務	⑦
14	開発事業紛争調停委員会事業	開発事業紛争調停委員会に関する事務	②
	景観づくり事業		
15	景観施策企画・調整事業	景観施策の企画及び総合調整に関すること。	⑦
16	景観計画運用事業	景観法に規定する景観計画の運用に関する業務全般	-
17	景観重要建造物事業	景観重要建造物の指定等に関すること	②
18	景観応援団事業	景観応援団の開催、事務	②
19	屋外広告物事業	屋外広告物に関すること	①
20	耐震改修促進事業	住宅の耐震診断及び耐震補強工事等の補助に関する事務、建築物震後対策推進に関する事務	-
	都市交通推進事業		
21	都市交通事業	平成23年度の地域公共交通会議の結果に基づき、町が神奈川県中央交通の路線バスを補助し運行する。また、交通空白区域の公共交通について、検討を行う。	-
22	地域公共交通会議事業	大磯町地域公共交通会議の審査	②
	歴史的建造物等整備事業		
23	邸園文化圏構想推進事業	パートナーシップ邸園事業への補助	-
24	歴史的建造物等整備基金事業	歴史的建造物等整備基金に関すること	②
25	大磯駅前洋館事業	大磯駅前洋館に関する業務	⑦
	公園運営事務事業		
26	都市公園運営事業	公園運営における各種事務処理、会合出席、公園緑地里親制度事務	②
27	公園緑地維持管理事業	既設公園緑地の清掃・除草・清掃ゴミの収集運搬、樹木の剪定、遊具の点検等	-
28	都市公園占用使用許可事業	既設公園の占用使用、公園内行為の許可	⑦

事業番号	事業名	内 容	対象外項目番号
29	運動公園維持管理事業	指定管理者制度に基づき大磯運動公園の管理を行う。	-
30	児童遊園維持管理事業	山王児童遊園（なかよし公園）を適正に維持管理するため、委託による清掃等を行うとともに、遊具の安全点検等施設の維持管理を行う。	-
31	旧生沢プール跡地整備事業	生沢プール跡地を地区住民のための広場として、平成24年～平成26年度までの3ヶ年で整備していく。	③
32	都市公園台帳作成事業	都市公園台帳が未整備な公園について、順次、都市公園台帳を作成する。	⑦
33	公園トイレ改修事業		③
34	公園施設長寿命化計画策定事業		⑥
	花とみどり推進事業		
35	花とみどり推進事業	町内の緑化に対する助成、公園におけるボランティア活動の助成	-
36	保存樹木事業	町内の特定樹木の保護	⑤
37	かながわトラストみどり財団事業	負担金支出、会合出席等	①
38	緑の基本計画事業	策定された緑の基本計画の運用	⑦
39	みどり基金積立事業	町に残された自然環境や歴史的環境を保全するとともに、緑化の推進を図る事業の財源とするため、必要な経費を積み立てた。	②
40	国土利用計画法事業	国土法届出に関する業務	①
41	公有地の拡大の推進に関する法律事業	公拡法届出に関する業務	①
42	社会資本整備総合交付金事業	社会資本整備総合交付金に関する事務	⑦
43	松くい虫被害対策自主事業	松くい虫の防除として、樹幹注入及び松の伐倒、また、抵抗黒松の苗木配布	-
44	課内庶務事業	文書照会回答、課内各種集計等	②
45	災害復旧事業	公園施設等が災害により、被害を受けたとき復旧等を行う。	①

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月23日
事業名	景観計画運用事業	担当課・係名	都市計画課都市計画係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	16
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	平成21年度

2. 事業の概要

目的 (何のために)	本町の良好な景観の形成・維持のため				
対象 (誰を・何を)	町内での開発事業および建築物の新築・増築				
内容	景観チェックシート・届出に基づき、景観計画に沿ったものか協議、指導を行う。				
根拠法令・条例等	景観法・大磯町景観条例				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	12	213	13
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	12	213	13
	職員人数 (概算職員数)	人		0.46	0.36
	人件費計 (b)	千円		1,676	1,254
総事業費 (a)+(b)	千円	12	1,889	1,267	
事業費内訳 H 26 年度	消耗品費：13千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 景観届出件数	件	52	82	85
	②				
活動指標 (活動量)	① 着手制限解除件数	件	52	82	85
	② 完了届提出件数	件	26	60	43
成果指標 (達成度等)	① 勧告・変更命令	%	0	0	0
	② 完了届提出率	%	50	73	50

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	開発事業主、建築主からの届出に基づき、都市計画課にて協議、審査を行った。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	大磯町景観計画の景観形成指針、基準に従い審査を行っている。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	完了届が提出された建築物等については、景観形成基準が確実に遵守され、良好な景観形成に寄与している。
効率性	・コストに対して効率的か	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	コストは消耗品のみであり、効率的であると考えます。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	予算が最小限の事務的経費のみであるため。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由
		完了届の提出率の改善が必要。

5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・着手制限解除通知書発行時に完了届書の用紙を渡し、完了届出率の向上を図る。 ・届出書の文書保管が地域別であったが、届出月別に、またすべての届出等に景観計画データベースのID（整理番号）を記載、管理を容易にする。
② 平成27年度に着手する事項
なし。
③ その他（課題、調整事項等）
<ul style="list-style-type: none"> ・完了届を提出しない建築物があるため、建築主（代理人）への手続きの周知を徹底したい。

6. 平成27年度事業への取組み状況（改善内容等）

<ul style="list-style-type: none"> ・少しずつではあるが、完了届の提出率が向上している。引き続き日頃の建築主（代理人）への手続きの周知を徹底するとともに、広報による周知を行い、提出率のさらなる向上を目指す。

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月22日
事業名	耐震改修促進事業	担当課・係名	都市計画課 開発指導係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	1-3：建築物耐震改修等補助事業	事業番号	20
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	平成18年度

2. 事業の概要

目的 (何のために)	住宅の耐震化を促進することにより、「大磯町第四次総合計画」に明記されている「安全で安心なあたたかみのあるまちづくり」の実現に向けて、地震による建築物の倒壊から人命を守る				
対象 (誰を・何を)	昭和56年5月31日以前に建築確認済証を取得した住宅				
内容	耐震改修促進計画に基づき、住宅の耐震化率を90%とすることを目標とし、昭和56年5月31日以前に建築確認済証を取得した住宅の耐震化事業に対する補助				
根拠法令・条例等	大磯町耐震改修促進計画、大磯町住宅耐震化事業補助金交付要綱				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	3,003	2,917	3,456
	国庫支出金	千円	1,134	1,270	1,560
	県支出金	千円	706	553	758
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	1,163	1,094	1,138
	職員人数 (概算職員数)	人		0.35	0.23
	人件費計 (b)	千円		2,145	1,409
総事業費 (a)+(b)	千円	3,003	5,062	4,865	
事業費内訳 H 26 年度	講師等謝金：40千円 普通旅費：17千円 消耗品費：35千円 建築物震後対策協議会負担金：44千円 住宅耐震改修等補助金：3,320千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 耐震性のない住宅総数	戸	4,895	4,772	4,669
	②				
活動指標 (活動量)	① 耐震診断実施戸数	戸	12	7	4
	② 耐震改修実施戸数	戸	4	4	1
成果指標 (達成度等)	① 耐震化率	%	65.71	66.70	67.60
	② 耐震相談会	回	1	1	1

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 国や県（補助金関係）、町関係各課（危機管理対策室や税務課）と連携をとりながら実施している。
	・実施手段は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 平成24年度の行政評価を受け、耐震化事業を重点的に進めるゾーニング設定（緊急輸送道路沿い）を行い、優先的に耐震化を図っています。
成果	・意図した成果が得られているか。	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 住宅の耐震改修工事については、補助制度があるものの個人負担が多額になることがあり、耐震診断のみを実施するケースがある。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 必要最小限の経費で事業を進めている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 国の交付金や県の補助金を活用している。
	担当課による評価		<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
		評価理由	耐震化率が耐震改修促進計画の想定を下回っているため改善の余地はあると言えるが、少しずつ着実に向上してきているため「A」とした。

5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	耐震化の啓発について、「広報おいそ」やホームページへの掲載、チラシの全戸回覧及び耐震の無料相談会を開催する等の耐震PR活動をしているが、更なる啓発活動について検討する。
② 平成27年度に着手する事項	大磯町耐震改修促進計画の改訂作業に着手する予定である。
③ その他（課題、調整事項等）	平成26年度の成果をふまえ、耐震化事業を重点的に進めるゾーニング設定等について見直し、調整を行う。

6. 平成27年度事業への取組み状況（改善内容等）

平成26年度には、大磯町住宅耐震化事業補助金交付要綱の改正を行った。（補助金の補助率及び上限額や耐震補強工事後診断値に関する補助対象等の改正） また、耐震化事業を重点的に進めるゾーニング設定（緊急輸送路）については平成27年度も引き続き行う。
--

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月23日
事業名	都市交通事業	担当課・係名	都市計画課都市計画係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	21
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	1-1-15 都市交通推進事業	事業開始年度	平成15年度

2. 事業の概要

目的 (何のために)	①路線バスの撤退が示された富士見地区（虫窪・黒岩・西久保地区）の公共交通の確保 ②公共交通の利用が不便な生活交通空白地域への新たな公共交通導入の検討				
対象 (誰を・何を)	①虫窪・黒岩・西久保地区住民及び同地区を目的地とする者 ②西小磯赤坂台地区				
内容	①平成14年の道路運送法改正にともなう富士見地区の路線バスの撤退申出を受け、生活交通確保対策事業により路線バスを維持し、併せて路線バスの運行では対応しきれない地域については、運賃無料の富士見地区コミュニティバスを運行していたが、平成24年4月より、二宮駅及び富士見地区まで乗り入れが可能な路線バス運行事業者による有償運行を開始 ②地域住民有志団体「西小磯東地区地域交通推進の会」とともに西小磯地区の公共交通について検討を継続				
根拠法令・条例等	大磯町生活交通確保対策事業補助金交付要綱				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	20,642	20,813	20,507
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	20,642	20,813	20,507
	職員人数 (概算職員数)	人		0.36	0.20
	人件費計 (b)	千円		2,206	1,226
総事業費 (a)+(b)	千円	20,642	23,019	21,733	
事業費内訳 H 26 年度	旅費：7千円 生活交通確保対策事業補助金：20,500千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 富士見地区人口	人	811	817	800
	②				
活動指標 (活動量)	① 運行便数	便	13	13	13
	②				
成果指標 (達成度等)	① 乗車人員	人/日	51	78	103
	②				

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input checked="" type="checkbox"/> その他 住民からの要望であった、駅までのバスの乗り入れや有償運行による継続的なバス運行のため路線バス運行事業者が実施しているが、今後、住民要望等を再確認し、デマンド方式等の検討が必要。
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input checked="" type="checkbox"/> その他 地域の学生を集団登校させる必要性からバス車両による大量輸送が必要であるが、通学時間帯以外については、検討を行う必要がある。
成果	・意図した成果が得られているか。	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 限られた便数の中で、地域の学生の登下校、買物や通院など当初意図としていた利用はなされている。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input checked="" type="checkbox"/> その他 バス事業者の不採算路線であった路線であるため、効率性は低い。ダイヤ改正等による効率性の向上が必要。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 地域住民からは朝夕の通勤通学のための運行を望む声があり、1日の運行開始及び終了時間が決まっており、これにより係るコストは便数を減らすことにつながるため、図る余地は無い。
	担当課による評価		<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
			評価理由 平成25年度にバスのダイヤ改正を行い、平成26年度から改正後のダイヤで運行している。その結果、バス利用状況は増加傾向にあるため、概ね成果が出ていると言えるが、デマンド方式等の検討を行う

5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
①利用状況の調査、住民へのアンケート調査を行い、運行方法の検討を引き続き行っていく。
② 平成27年度に着手する事項
①平成26年度のバス利用状況を調査し、必要に応じてダイヤ改正を行う。 ②西小磯赤坂台地区を含めたJR北側の西小磯東区について、デマンド型乗合タクシーの運行を目指す。
③ その他（課題、調整事項等）
それぞれの公共交通空白地域の地域特性に応じて、適切な公共交通の手段を検討する。

6. 平成27年度事業への取組み状況（改善内容等）

①平成26年度のバス利用状況を集計している。（富士見地区） ②デマンド型乗合タクシーの運行に向け、関係機関等との調整を行っている。（西小磯東地区）
--

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月23日
事業名	邸園文化圏構想推進事業	担当課・係名	都市計画課都市計画係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	23
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要

目的 (何のために)	神奈川県が進める「邸園文化圏再生構想」の取組の一つとして、NPO法人等が邸園所有者及び県、町と協働して実施する「パートナーシップ邸園事業」を行い、邸園の価値の普及と啓発及び邸園文化を創造し発信するため				
対象 (誰を・何を)	大磯町観光協会の主催事業による参加者				
内容	パートナーシップ庭園事業補助金交付要綱に基づいて、大磯町観光協会に補助金を交付し、邸園文化交流事業を実施 (安田邸十五夜観月会、邸園文化を支えた大磯宿歴史と味の散歩道、安田邸お茶会、伊藤博文ゆかりの大磯巡り)				
根拠法令・条例等	パートナーシップ邸園事業補助金交付要綱				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	562	600	600
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	562	600	600
	職員人数 (概算職員数)	人		0.09	0.05
	人件費計 (b)	千円		552	306
総事業費 (a)+(b)	千円	562	1,152	906	
事業費内訳 H 26 年度	パートナーシップ邸園事業補助金：600千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 動員目標人数	人	748	616	616
	② 事業開催予定日数	日	7	8	8
活動指標 (活動量)	① 参加人数	人	444	491	—
	② 事業開催日数	日	6	8	—
成果指標 (達成度等)	① 参加人数	%	59	80	—
	② 事業開催日数	%	85	100	—

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 社団法人大磯町観光協会は邸園所有者との関係が構築されており、他団体の協力を得ながら事業実施を円滑に実施する組織である。
	・実施手段は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 邸園所有者の協力の下、多くの来町者に町の邸園文化に触れていただき、邸園所有者にはCSR（企業の社会貢献）の一翼ともなっており手段は妥当である。
成果	・意図した成果が得られているか。	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 実施されている邸園での交流事業にはリピーターも多く事業が定着化していることから一定の成果を得られている。しかし、屋外での事業ということもあり、天候等による影響も受けやすい。
	・コストに対して効率的か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 社団法人大磯町観光協会への交付金であり、要綱に基づき、適切に支出されているため。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 事業内容の低下にならない程度で、コスト削減が取り組まれている。併せて町の補助金額も削減されている。
	担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	
		評価理由 「観光の核」として実施する事業との関係について、検討する必要がある。	

5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	新たな観光の核づくり事業と連携し、より多くの来町者に、大磯の邸園文化に触れていただく。
② 平成27年度に着手する事項	国の地域住民生活等緊急支援交付金を活用し、更なる事業拡大、新規事業の推進を図る。
③ その他（課題、調整事項等）	国の交付金メニューに適合した中で事業を進めていく必要がある。

6. 平成27年度事業への取組み状況（改善内容等）

平成26年度の実績報告を検証し、適切な交付金支出に努めると共に、新たな観光の核づくり事業との連携により、魅力的なイベントを開催し、来町者の増につなげる。
--

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月16日
事業名	公園緑地維持管理事業	担当課・係名	都市計画課都市計画係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	27
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要

目的 (何のために)	町民のレクリエーション、健康増進及び福祉の向上の場として公園の利用増進を図るとともに、自然景観を維持するため、緑地の維持管理を実施				
対象 (誰を・何を)	町内の都市公園・緑地（街区公園：42箇所、都市緑地：8箇所）				
内容	既設公園・緑地の清掃、除草、清掃ゴミの収集運搬、樹木剪定、遊具点検、修繕等の実施するとともに、公園利用者等からの要望や意見に対する対応等を行っている				
根拠法令・条例等	都市公園法、町都市公園条例				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	19,148	16,997	21,645
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	86	105	
	一般財源	千円	17,877	16,892	21,645
	職員人数 (概算職員数)	人		0.30	0.47
	人件費計 (b)	千円		1,724	2,880
総事業費 (a)+(b)	千円	19,148	16,997	24,525	
事業費内訳	消耗品費：82千円 燃料費：120千円 光熱水費：2000千円 修繕料：2111千円 車検料：53千円 手数料：226千円 自動車損害保険料：38千円 傷害保険料：14千円 管理委託料：13500千円 保守委託料：389千円 用地借上げ料979千円 修繕用材料費：30千円 負担金：10千円 助成金：164千円				
H 26 年度					

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 清掃対象公園緑地数	箇所	47	47	47
	② 要望等の件数	件	120	127	100
活動指標 (活動量)	① 清掃回数	回	989	988	1,000
	② 要望等の処理件数	件	112	118	100
成果指標 (達成度等)	① 1公園緑地当たりの年間清掃回数	回	21	21	21
	② 要望等の処理率	%	93	93	100

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	清掃・ゴミの運搬や樹木の剪定等を町内団体等へ委託している。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	要望の一次対応等は職員が行い、必要に応じて業者に委託している。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	清掃業務等を町内の団体等へ委託することで、地域の実情に応じて、適正な維持管理が図れている。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	要望の一次対応等は職員が行い、必要に応じて業者に委託することで、効率的な維持管理が図れている。
	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	公園の清掃・ゴミの運搬を、町内団体（シルバー人材センター等）へ委託することで、コストの削減を図っている。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 必要最低限の予算で、既存公園等の維持管理業務を適正に行っている。

5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
<p>既存公園の施設については老朽化が進んでいることから、安全・安心の観点から、遊具を含む公園施設の点検・修繕に重点的に取り組む必要がある。</p>
② 平成27年度に着手する事項
<ul style="list-style-type: none"> ・遊具を含む公園施設の点検・修繕。 ・新規公園として、いくさわ西の池跡公園の清掃・管理を開始。
③ その他（課題、調整事項等）
なし。

6. 平成27年度事業への取組み状況（改善内容等）

<p>平成26年度の遊具点検結果を踏まえ、必要な修繕を行うとともに、トイレチェックシートなどを活用して清掃を行うことで、安全で快適な維持管理に努める。</p>

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月17日
事業名	運動公園維持管理事業	担当課・係名	都市計画課都市計画係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	29
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要

目的 (何のために)	町民のレクリエーション、健康増進及び福祉の向上の場として利用増進を図るため				
対象 (誰を・何を)	大磯運動公園（野球場、多目的広場、テニスコート4面等）				
内容	町都市公園条例に基づき、指定管理者を指定し、運動公園の運営管理や自主事業の開催、公園施設の維持管理業務などを行っている				
根拠法令・条例等	都市公園法、町都市公園条例				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	23,537	23,834	23,167
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	23,537	23,834	26,167
	職員人数 (概算職員数)	人		0.22	0.15
	人件費計 (b)	千円		1,348	919
総事業費 (a)+(b)	千円	23,537	23,834	24,086	
事業費内訳 H 26 年度	修繕料：600千円 通信運搬費：112千円 自動車損害保険料：30千円 管理委託料：22425千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 有料施設の登録団体数	団体	1,908	1,953	2,000
	②				
活動指標 (活動量)	① 有料施設の利用者数	人	59,174	57,963	60,000
	② 自主事業のメニュー数	-	5	6	8
成果指標 (達成度等)	① 自主事業の参加人数	人	1,397	3,965	4,000
	②				

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 大磯町都市公園条例の指定管理者の指定の基準に基づき、適切に指定管理者を指定し、維持管理を図っている。
	・実施手段は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 大磯町都市公園条例に基づき、指定管理者制度により維持管理を図っている。
成果	・意図した成果が得られているか。	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 民間の事業者のノウハウを活用して、利用者の多様なニーズに応えた、質の高いサービスを提供している。
	・コストに対して効率的か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 民間の事業者のノウハウを活用して、効果的・効率的な管理運営を図っている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 民間の事業者のノウハウを活用して、コストの削減を図っている。
	担当課による評価		<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
			評価理由 指定管理者制度により、必要最低限の予算で、公園の運営等を適正に行っている。

5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	自主事業の拡大などにより、利用者の拡大に取り組む。
② 平成27年度に着手する事項	自主事業の拡大や多目的広場の芝生化などにより、利用者の拡大に取り組む。 第3期（H28～H32）の指定管理者の選定。
③ その他（課題、調整事項等）	オープンから10年が経過し、施設の老朽化が進んでいるため、計画的な修繕が必要。

6. 平成27年度事業への取組み状況（改善内容等）

自主事業の拡大や多目的広場の芝生化に取り組むとともに、平成26年度に策定した公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の適切な維持管理につとめる。

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月17日
事業名	児童遊園維持管理事業	担当課・係名	都市計画課都市計画係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	30
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	昭和60年度

2. 事業の概要

目的 (何のために)	児童のレクリエーション等の場として利用増進を図るため				
対象 (誰を・何を)	山王町児童遊園				
内容	児童遊園の清掃、除草、清掃ゴミの収集運搬、樹木剪定、遊具点検・修繕等の維持管理業務を実施するとともに、利用者等からの要望や意見に対する対応等。				
根拠法令・条例等	町児童遊園条例、児童福祉法				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	1,436	1,241	1,504
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	1,436	1,241	1,504
	職員人数 (概算職員数)	人		0.11	0.08
	人件費計 (b)	千円		674	490
総事業費 (a)+(b)	千円	1,436	1,241	1,994	
事業費内訳 H 26 年度	消耗品費：4千円 光熱水費：65千円 修繕料：81千円 管理委託料：320千円 保守委託料：17千円 敷地借上料：862千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 要望等の件数	件	16	18	10
	②				
活動指標 (活動量)	① 要望等の処理件数	件	14	15	10
	②				
成果指標 (達成度等)	① 要望等の処理率	%	88	83	100
	②				

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	清掃・ゴミの運搬や樹木の剪定等を町内団体等へ委託している。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	要望の一次対応等は職員が行い、必要に応じて業者に委託している。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	清掃業務等を町内の団体等へ委託することで、地域の実情に応じて、適正な維持管理が図れている。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	要望の一次対応等は職員が行い、必要に応じて業者に委託することで、効率的な維持管理が図れている。
	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	公園の清掃・ゴミの運搬を、町内団体（シルバー人材センター）へ委託することで、コストの削減を図っている。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 必要最低限の予算で、既存公園の維持管理業務を適正に行っている。

5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
既存公園の施設については老朽化が進んでいることから、安全・安心の観点から、遊具を含む公園施設の点検・修繕に重点的に取り組む必要がある。
② 平成27年度に着手する事項
遊具を含む公園施設の点検・修繕。
③ その他（課題、調整事項等）
なし。

6. 平成27年度事業への取組み状況（改善内容等）

平成25年度の遊具点検結果を踏まえ、必要な修繕を行うとともに、トイレチェックシートなどを活用して清掃を行うことで、安全で快適な維持管理に努める。
--

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月17日
事業名	花とみどり推進事業	担当課・係名	都市計画課都市計画係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	35
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	平成21年度

2. 事業の概要

目的 (何のために)	いけがき設置やシンボルツリー植栽による敷地内緑化による良好な景観形成の推進 町民等によるボランティア団体が主体となって花や緑の植栽の維持管理等の活動に参加することにより、花に親しむ機会を拡大するとともに、心のやすらぎと美化意識の高揚を図るために行う大磯町花いっぱい運動の推進				
対象 (誰を・何を)	いけがき設置、シンボルツリー植栽及び花いっぱい運動に要する経費				
内容	<ul style="list-style-type: none"> 敷地内に植栽するシンボルツリーに対する費用の助成 敷地外構にいけがきを設置するために要する経費の助成 ボランティア団体による花いっぱい運動に要する経費の補助 				
根拠法令・条例等	大磯町いけがき設置奨励事業補助金交付要綱、大磯町シンボルツリー奨励事業補助金交付要綱 大磯町花いっぱい運動推進要綱				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	511	537	575
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	511	537	575
	職員人数 (概算職員数)	人		0.12	0.14
	人件費計 (b)	千円		431	858
総事業費 (a)+(b)	千円	511	968	1,433	
事業費内訳 H 26 年度	いけがき設置奨励事業費補助金：90千円 シンボルツリー条例事業補助金：100千円 花いっぱい運動事業交付金等：385千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① いけがき、シンボルツリー申請件数	件	6	4	9
	② 花いっぱい運動団体数	件	6	7	8
活動指標 (活動量)	① いけがき延長/シンボルツリー本数	m/本	46/3	0/4	30/5
	② 緑化面積	m ²	51	0	61
成果指標 (達成度等)	①				
	②				

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	町民等からの申請により都市計画課にて審査を行い、補助金の交付等を行っている。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	各要綱に適合しているものについて、規定の補助金の交付等を行っている。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	いけがき設置については、1～3件/年で横ばい状況で、シンボルツリーについては、減少傾向にある。 花いっぱい運動については、着実に登録団体が増えており、町内の緑化に寄与している。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	花いっぱい運動に要する経費については、ボランティア団体に対する花苗の配布のみであるため、効率的である。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	必要最小限の経費で事業を進めている。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 経費は少ないが、緑化推進としての効果は得られている。

5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
緑化の推進に関するこれらの制度を体系的に位置づけるとともに、町のホームページなどにより積極的に周知を図っていく。
② 平成27年度に着手する事項
制度の周知（ホームページや広報など）
③ その他（課題、調整事項等）
なし。

6. 平成27年度事業への取組み状況（改善内容等）

平成26年1月に制定した「大磯町緑化の推進及び緑の保全に関する条例」に基づき、ホームページや広報などにより積極的に周知を図っていく。
--

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月22日
事業名	松くい虫被害対策自主事業	担当課・係名	都市計画課都市計画係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	43
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	昭和57年度

2. 事業の概要

目的 (何のために)	優れた風致景観と防風等の機能を有している松の保全				
対象 (誰を・何を)	松くい虫被害対策自主事業計画に基づいた松				
内容	松くい虫被害の予防対策として樹幹注入、松くい虫の駆除対策として特別伐倒を委託により実施				
根拠法令・条例等	森林病虫害防除法				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	1,666	2,109	2,490
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円	794	1,082	1,185
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	872	1,027	1,305
	職員人数 (概算職員数)	人		0.11	0.14
	人件費計 (b)	千円		674	858
総事業費 (a)+(b)	千円	1,666	2,109	3,348	
事業費内訳 H 26 年度	松くい虫被害対策委託料：2401千円 苗木代：89千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 枯松の本数	本	29	42	11
	② 計画対象の松	本	18	51	11
活動指標 (活動量)	① 特別伐倒の本数	本	29	42	11
	② 樹幹注入対策の本数	本	18	51	0
成果指標 (達成度等)	① 対策実施率 (伐倒)	%	100	100	100
	② 対策実施率 (樹幹注入)	%	100	100	100

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	現地調査や実施計画の作成は職員が行い、実施計画に基づく対策は専門業者が実施しており、実施主体は妥当である。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	樹幹注入や駆除対策である特別伐倒といった松くいに関する専門的な知識と技術力が必要な対策について専門業者に委託しており、実施手段は妥当である。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	専門業者への委託により、適正な対策を実施しているが、松枯れ量はやや増加する傾向にある。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	予防的な対策（樹幹注入）を行うことで、松くい虫の被害の拡大を事前に防いでいる。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	駆除対策である特別伐倒に加え、予防的な対策（樹幹注入）を行うことで、松くい虫の被害の拡大を事前に防いでいるが、松枯れ量はやや増加する傾向にある。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由
		必要最低限の予算で、松くい虫対策を適正に行っている。

5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
第四次事業計画に基づき、引き続き松の保全に取り組んでいく。
② 平成27年度に着手する事項
なし。
③ その他（課題、調整事項等）
実施計画の事業区域外の松についても、松枯れが確認されており、その対策が課題となっている。

6. 平成27年度事業への取組み状況（改善内容等）

実施計画に基づき、予防対策（樹幹注入）を行うとともに、枯れ松を駆除することで、引き続き松の保全に取り組む。
